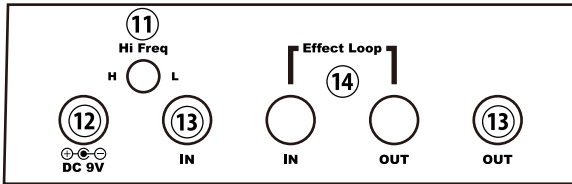


Miura Guitars U.S.A. K3 Miura DI & Preamp オーナーズマニュアル

この度はMiura Guitars U.S.A.「K3 Miura DI & Preamp」をお買い上げいただきましてありがとうございます。厳選された素材を贅沢に使い、DCコンバーターを用いて本格的な内部昇圧を行い、安定した電源を確保することによりワイドレンジかつ広大なヘッドルーム、かつ極めて歪みの少ない上質の低域再生を実現したDI・プリアンプです。世界のトッププレイヤーが、ライブおよびレコーディングで安心して使用できる音質を是非ご自身の耳で体感して下さい。



各部の説明

- ① **VOLUME** : OUTおよびDI OUTの音量を調整します。
- ② **BASS** : 低域(20Hz ピークポイント)を調整します。
- ③ **MIDDLE** : 中域を調整します。中域の周波数はMID FREQ(④)で変更できます。
- ④ **MID FREQ** : 変化させる中域の帯域を設定します。帯域は160Hzから4kHzです。
- ⑤ **TREBLE** : 高域を調整します。高域の周波数はHi Freq(⑪)で変更できます。
- ⑥ **GAIN** : LINE IN(⑬)から入ってきた音声信号のゲイン幅(10dbから22db)を調整します。
- ⑦ **G-Lift** : グランドリフトのON/OFFスイッチです。ノイズが乗る場合に切り替えて下さい。
- ⑧ **PAD** : DI OUT(G-Lift下)の信号を-15db下げます。音が歪む場合試してみてください。
- ⑨ **EQ** : EQ部分(①から⑥)のOn/Offを切り替えます。
- ⑩ **LOOP** : Effect Loop IN/OUT(⑭)への信号の流れを切り替えます。
- ⑪ **Hi Freq** : TREBLE(⑤)の帯域を切り替えます。帯域は12kHzと18kHzです。
- ⑫ **DC 9V** : 電源アダプター(DC 9V 150mA以上 センターマイナス)を挿入します。
- ⑬ **LINE IN/OUT** : INに楽器からの信号を入れて下さい。最終的にOUTから出力されます。
- ⑭ **Effect Loop** : ここのIN/OUTに接続された信号は、LOOP(⑩)でOn/Offの切り替えができます。
- ⑮ **DI OUT(G-lift下部)** : ここからDIの信号が出力されます。XLR端子のケーブルをお繋ぎ下さい。

使用上のご注意

DI OUT(G-lift下部)の信号レベルは、VOLUME(①)GAIN(⑥)に影響されます。もしレベルが大きくて音が歪む場合は、それらを少し抑えたり、PAD(⑧)をOnにするなどの調整をして下さい。なお、電源アダプターはセンターマイナスを必ずお使い下さい。故障の原因となりますので、センタープラスは絶対にお使いにならないで下さい。

仕様

LINE OUT インピーダンス : 10k Ω
バランスアウト インピーダンス : 600 Ω
消費電力量 : 約150mA
電源 : DC9V(センターマイナス)



Miura Guitars U.S.A.

<http://www.miuraguitars.com/>
info@miuraguitars.com
818.687.8584